

令和1年度

事業報告書

(2019年4月1日～2020年3月31日)

社会福祉法人真盛園

令和1年度 社会福祉法人真盛園事業報告

(1) 運営全体

養護老人ホーム（宝珠寮）の改修を9月末に終え、定員60名まで利用者を受け入れできるよう大津市を始め他市町村との交渉を進めているところであります。措置費収入を見ても改修前と比較してゆるやかですが、増収傾向にあります。今後、定員近くまで利用者を確保し運営の安定を図って参ります。

法人の経営・財務強化を図る上で、運営する事業の見直しを行い、小規模多機能型居宅介護事業所「良の家」廃止。在宅介護支援センター廃止。と、人材と資金を採算性のある事業に特化して法人運営を安定させるよう進めて参りました。

(2) 雇用

介護人材不足は深刻な問題であり、当園におきましても採用が非常に困難な状況が続いております。「少子高齢化」によって介護を担う人材の絶対数が減ってきている中、経済産業省の試算では、2015年時点で介護人材不足は4万人だったのに対して2035年には79万人になるとされており、約20倍に膨れ上がっています。また他法人との人材獲得競争が激しいことも挙げられます。

新規採用は正規職員が4名、非正規職員が8名、派遣職員が1名となっておりますが、前年度末の職員数（正規、非正規、派遣、嘱託）全体と比較致しますと、前年度143名に対し、当年度は125名と△18名となっております。当年度末で、派遣職員は0名となっておりますが、今後はまた派遣職員に頼らざるを得ない状況になることも考えられます。

(3) 災害対策

平成29年6月に土砂災害防止法が改正され、土砂災害警戒区域内の要配慮者利用施設の所有者又は管理者に対し、避難確保計画の作成及び避難訓練の実施が義務付けられました。避難確保計画は作成済みですが、避難訓練が未実施だったため、訓練を10月に実施致しました。

コロナウィルスによる感染症に関し、園内侵入を防ぐ対策と致しましては、衛生委員会を随時開催し、嘱託医師指導のもと、コロナウィルスの情報を職員全員が共有し出来ることを最大限実施して参りました。マスクや消毒液といった衛生用品につきましては、災害時の備蓄をしていたこともあり不足することはありません。

せんでした。今後は食料品に関しましても、1週間分は備蓄しておけるよう備蓄倉庫を新設した次第であります。

(4) 地域における公益的な取組

地域交流センター「老いも若きも」の事業を始めとして、デイサービスセンターでのフリースペース事業を実施し、社会福祉法人としての責務を果たしてきたところであります。

令和1年度 事業報告

1. 理事会・評議員会等の開催

(1) 第1回 理事会

〈開催日〉

理事会 2019年6月3日(月) 午前10:30～午後12:30

〈会場〉

宗教法人西教寺禅明坊

〈議題〉

1. 「2018年度社会福祉法人真盛園事業報告について」
2. 「2018年度社会福祉法人真盛園決算報告について」「監事監査報告について」
3. 「定時評議員会の日時・場所・議題について」
4. 「社会福祉法人真盛園新役員候補者の推薦について」
5. 「社会福祉法人真盛園新評議員候補者の推薦について」
6. 「小規模多機能型居宅介護事業所「良の家」廃止について」
7. 「在宅介護支援センターの廃止について」
8. 「介護予防訪問介護相当サービス事業所廃止について」
9. 「2019年度社会福祉法人真盛園借入金限度額変更について」
10. 「経理規程の改定について」
11. 「就業規則の改定について」
12. 「準職員就業規則の改定について」
13. 「育児休業及び育児短時間勤務に関する規程の改定について」

〈その他報告事項〉

「定款の改定について」

「文書取扱規程の改定について」

「指定訪問介護・介護予防訪問介護相当サービス事業所運営規程の改定について」

「理事長及び常務理事の職務執行状況について」

「2018年度社会福祉充実残額について」

「2018年度社会福祉法人真盛園後援会決算報告について」

第2回 理事会

〈開催日〉

理事会 2019年6月24日(月) 午後2:00～午後3:00

〈会場〉

宗教法人西教寺禅明坊

〈議題〉

14. 「社会福祉法人真盛園理事長選任について」
15. 「社会福祉法人真盛園常務理事選任について」
16. 「経理規程の改定について」

17. 「借入金に伴う担保提供について」

第3回 理事会（書面決議）

〈報告日〉

理事会 2019年8月1日（木）

〈その他報告事項〉

「定款の改定について」

第4回 理事会

〈開催日〉

理事会 2020年3月6日（金）午前10:00～午後12:00

〈会場〉

社会福祉法人真盛園本堂

〈議題〉

18. 「訪問介護事業所廃止について」
19. 「特定施設入居者生活介護事業所運営規程改定について」
20. 「令和2年度社会福祉法人真盛園事業計画について」
21. 「令和2年度社会福祉法人真盛園当初予算について」
22. 「令和2年度社会福祉法人真盛園借入金限度額について」
23. 「養護老人ホーム、令和2年度前期末支払資金残高使用限度額について」
24. 「令和1年度社会福祉法人真盛園補正予算について」
25. 「令和1年度第3回評議員会の日時・場所・議題について」
26. 「公印管理規程改定について」

〈その他報告事項〉

「定款の改定について」

「特別養護老人ホーム、ショートステイ、デイサービス運営規程改定について」

「大津市指導監査結果について」

(2) 第1回 定時評議員会

〈開催日〉

評議員会 2019年6月24日（月）午前10:30～午後12時30分

〈会場〉

宗教法人西教寺禅明坊

〈議題〉

1. 「2018年度社会福祉法人真盛園決算報告について」「監事監査報告について」
2. 「社会福祉法人真盛園新役員候補者の選任決定について」
3. 「小規模多機能型居宅介護事業所「良の家」廃止について」
4. 「在宅介護支援センターの廃止について」
5. 「介護予防訪問介護相当サービス事業所廃止について」

6. 「定款の改定について」
7. 「借入金に伴う担保提供について」

〈その他報告事項〉

- 「2018年度社会福祉法人真盛園事業報告について」
- 「2019年度社会福祉法人真盛園借入金限度額変更について」
- 「経理規程の改定について」
- 「文書取扱規程の改定について」
- 「就業規則の改定について」
- 「準職員就業規則の改定について」
- 「育児休業及び育児短時間勤務に関する規程の改定について」
- 「2018年度社会福祉法人真盛園後援会決算報告について」

第2回 評議員会（書面決議）

〈報告日〉

評議員会 2019年8月1日（木）

〈議 題〉

8. 「定款の改定について」

第3回 評議員会

〈開催日〉

評議員会 2020年3月26日（木）午前10:00～午後12:00

〈会 場〉

宗教法人西教寺研修道場

〈議 題〉

9. 「訪問介護事業所廃止について」
10. 「特定施設入居者生活介護事業所運営規程改定について」
11. 「定款の改定について」
12. 「令和2年度社会福祉法人真盛園事業計画について」
13. 「令和2年度社会福祉法人真盛園当初予算について」
14. 「令和2年度社会福祉法人真盛園借入金限度額について」
15. 「養護老人ホーム、令和2年度前期末支払資金残高使用限度額について」
16. 「令和1年度社会福祉法人真盛園補正予算について」

〈その他報告事項〉

- 「公印管理規程改定について」
- 「特別養護老人ホーム、ショートステイ、デイサービス運営規程改定について」
- 「天津市指導監査結果について」

(3) 第1回 評議員選任・解任委員会

〈開催日〉

評議員会 2019年6月6日（木）午後2:00～午後3時00分

〈会 場〉

社会福祉法人真盛園会議室

〈議 題〉

1. 「評議員の選任について」

2. 監事監査の実施

(1) 監事監査

〈開催日〉

監事監査 2019年5月24日（金）午前10:00～午後12:00

〈会 場〉

社会福祉法人真盛園会議室

〈監査事項〉

- ① 「理事の業務執行状況について」
- ② 「法人の財産管理状況について」
- ③ 「法人及び施設の業務執行状況について」
- ④ 「法人及び施設の会計状況について」
- ⑤ 「その他事項」

3. 役員研修旅行

〈実施日〉

未実施

令和1年度社会福祉法人真盛園年間事業報告表

項目 月	行 事			研修・会議	災害訓練	健康・衛生管理	全国・近畿・県内の各種会議・研修会
	給 食	レクリエーション	行 事	内 容	内 容		
4	花祭り	お花見見学 誕生会	法華千部会 西本願寺法話	辞令交付式 新任研修 幹部会議等			1.全国経営者大会 2.滋老協会議 3.近老協研究大会 4.県・市主催研修会 5.その他
5	端午の節句	誕生会 音楽クエーション		幹部会議等 友愛会総会 監事監査			
6	水無月	運動会 誕生会 音楽クエーション	西本願寺法話 不在者投票	家族会総会 幹部会議等 理事会 評議員会 評 議 員 選 任・解任委員 会	消防避難訓練	衣替え 老人健診 結核予防健診 職員健診	実習生受入 体験学習受入
7	土用丑（鰻）	七夕 流しそうめん 音楽クエーション		幹部会議等			1.各大学・短大 2.福祉専門学校 3.滋賀県・大津市 4.シルバー人材センター 5.ホームヘルパー実習 受入
8		誕生会 音楽クエーション	施餓鬼法要 地藏盆 西本願寺法話	幹部会議等 118 研修			6.その他(看護学校等) 7.滋賀の縁創造 実践センター総会
9	敬老祝膳 彼岸	敬老お楽しみ会 音楽クエーション	彼岸会 敬老祝賀会 真盛宗法話	幹部会議等 AED 研修 人権研修		老人健診	
10	月見団子	秋祭り(そば慰問) 誕生会 音楽クエーション		幹部会議等 衛生委員会		衣替え	
11	寿司デモ	音楽クエーション	文化祭	幹部会議等 研究発表会	消防避難訓練	インフルエンザ 予防接種(利用者・職員)	
12	冬至献立 年越しそば	お楽しみ会 餅つき 誕生会 音楽クエーション	西本願寺法話 餅つき大会	幹部会議等		職員生活習慣病 健診	
1	おせち料理	誕生会 音楽クエーション	修正会	幹部会議等			
2	節分献立	節分豆まき 音楽クエーション	節分会 西本願寺法話	幹部会議等 衛生委員会			
3	雛御膳 彼岸	食事会 音楽クエーション	涅槃会 彼岸法要 真盛宗法話	幹部会議等 理事会 評議員会			

※毎朝8:50～朝礼 9:00～本堂にてお勤め

職員関係会議及び研修等	利用者関係
1.幹部会議（月1回）	1.書道教室（第2・第4水）
2.介護課リーダー会議（月1回）	2.喫茶「友」（第2・第4木）
3.班会議	3.リハビリ訓練（毎週水）
4.身体拘束会議	
5.各種委員会	
・行事委員会（毎月第2金）	
・友愛会委員会（毎月第2木）	
・リスクマネジメント委員会（毎月第4金）	
・個人情報保護推進委員会(随時)	
・ボランティア委員会（毎月第1火）	
・ケアプラン会議（随時）	
6.介護職・看護師によるミーティング （AM9:00～・PM4:30～）	
7.第三者委員会（随時）	
8.入居判定委員会（月1回）	
9.研修報告会	
10.研修報告会	

令和元年度 施設外研修実績

研修月	依頼内容	職種	人員	日数
4月	介護認定審査会新任委員研修会	ケアマネ	1	1
	滋賀県社会福祉トップセミナー	事務	1	1
	大津市介護サービス事業者協議会総会・研修会	相談員	1	1
	介護現場の働き方改革研修	事務	1	1
	社会福祉法人制度改革事務担当者フォローアップセミナー	事務	1	1
5月	介護支援専門員 現任研修(専門課程Ⅰ)研修	ケアマネ	2	2
	平成31年度大津市介護予防支援委託事業所向け研修会	ケアマネ	1	1
	2019年度 青年部会総会、研修会	事務	1	1
6月	滋賀県認知症介護実践者研修	介護職	2	3
	ひえい在宅療養応援団 世話役会議(医療・介護多職種連携会議)通所サービス事業所連絡ミーティングの参加について	介護職	1	1
	介護支援専門員 現任研修(専門課程Ⅰ)研修	ケアマネ	2	4
	令和元年度大津市介護支援専門員連絡協議会ブロック研修	ケアマネ	1	1
7月	令和元年度 医療的知識連続講座 身体に関する基礎知識を学ぶ研修	介護職	1	1
	危険物取扱者保安講習	業務	1	1
	軽減税率制度説明	事務	1	1
	滋賀県認知症介護実践者研修	介護職	2	3
	介護支援専門員 現任研修(専門課程Ⅰ)研修	ケアマネ	2	3
	難病患者災害対策従事者研修会	相談員	1	1
	人材育成研修	相談員	1	1
	滋賀県介護支援専門員連絡協議会 管理者研修	ケアマネ	1	1
	近畿老人福祉施設協議会 研究大会滋賀大会	園長 他	8	2
	滋賀県認知症介護実践リーダー研修	介護職 他	2	2
	精神科訪問看護基本研修	看護師	1	3
	災害時の福祉支援講習会	業務	1	1
	認知症介護基礎研修	介護職	2	1
	感染症対策従事者研修会	看護師	1	1
ボイラー取得技術講習	業務	1	2	
8月	抱え上げない介護推進セミナー	介護職	2	1
	滋賀県認知症介護実践リーダー研修	介護職 他	2	2
	第1回地域福祉計画・地域福祉活動計画合同会議	相談員	1	1
	介護福祉士実習指導者講習会	介護職	2	2
	滋賀県認知症介護実践者研修	介護職	2	2
	車椅子シーティング研修	介護職	2	1
9月	滋賀県認知症研修	相談員	1	1
	滋賀県認知症介護実践リーダー研修	介護職 他	2	5
	介護福祉士実習指導者講習会	介護職	2	2
	滋賀県主任介護支援専門員研修	ケアマネ	1	2
	令和元年度 医療的知識連続講座 身体に関する基礎知識を学ぶ研修	介護職	1	1
	認知症介護基礎研修	介護職 他	2	1
	車椅子シーティング研修	介護職	2	2
	比叡エリアにおける「事例検討会」	ケアマネ	1	1
	抱え上げない介護リーダー研修	介護職	2	1
	第1回比叡ブロック医療福祉関係者合同勉強会	ケアマネ	1	1
介護支援専門員 更新研修Ⅰ(専門課程Ⅱ)	ケアマネ	1	1	
権利擁護推進委員養成研修	介護職	1	1	
10月	滋賀県主任介護支援専門員研修	ケアマネ	1	3
	介護支援専門員 更新研修Ⅰ(専門課程Ⅱ)	ケアマネ	1	3
	権利擁護推進委員養成研修	介護職	1	2
	ひえい在宅療養応援団	相談員	1	1
	令和元年度 医療的知識連続講座 身体に関する基礎知識を学ぶ研修	介護職	1	1
	介護職員チームリーダー養成研修	相談員	1	2
	滋賀県認知症介護実践リーダー研修	介護職 他	2	2

令和元年度 施設外研修実績

研修月	依頼内容	職種	人員	日数
10月	近畿老人福祉施設協議会 養護老人ホーム職員研修	介護職 他	2	1
	第1回フリースペース交流会	相談員	1	1
	抱え上げない介護リーダー研修	介護職	2	1
11月	介護職員チームリーダー養成研修	相談員	1	5
	経営協青年部会研修会	事務	1	1
	介護支援専門員 更新研修Ⅰ（専門課程Ⅱ）	ケアマネ	1	1
	第2回地域福祉計画・地域福祉活動計画合同会議	相談員	1	1
	滋賀県主任介護支援専門員研修	ケアマネ	1	3
	抱え上げない介護リーダー研修	介護職	2	1
	大津市介護サービス事業者協議会研修会	相談員	1	1
	養護老人ホームながはま への一般型養護老人ホーム研修	相談員 他	3	1
	キャリアアップ事業企画評価委員会訪問看護初任期研修	看護師	1	1
	ひえい在宅療養応援団	相談員	1	1
	滋賀県老人福祉施設協議会 養護部会県外研修	園長 他	3	2
12月	滋賀県主任介護支援専門員研修	ケアマネ	1	4
	介護職員チームリーダー養成研修	相談員	1	3
	令和元年度 医療的知識連続講座 身体に関する基礎知識を学ぶ研修	介護職	1	1
	介護保険施設介護支援専門員研修	ケアマネ	1	1
	ひえい在宅療養応援団	相談員	1	1
	要介護度改善研修会	相談員 他	2	1
	権利擁護推進委員養成研修	介護職	1	1
1月	ひえい在宅療養応援団	相談員	1	1
	介護職員チームリーダー養成研修	相談員	1	3
	キャリアアップ事業企画評価委員会訪問看護初任期研修	看護師	1	1
	比叡エリアにおける「事例検討会」	ケアマネ	1	1
	大津市介護サービス事業者協議会主催の意見交換会	相談員	3	1
	難病在宅支援従事者研修会	看護師	3	1
	第3回比叡ブロック医療福祉関係者合同勉強会	ケアマネ	1	1
	第2回フリースペース交流会	相談員	1	1
近畿老人福祉施設協議会 施設長研修	園長	1	1	
2月	高齢者虐待予防研修	ケアマネ	2	1
	第3回比叡エリア子育てネットワーク	相談員	1	1
	障害者雇用納付金制度事務説明会	事務	1	1
	大津市介護サービス事業者協議より大津市難病対策地域協議会	相談員	1	1
	介護職員チームリーダー養成研修	相談員	1	3
	大津圏域地域看護ネットワーク情報交換会	看護師	1	1
	給食施設関係職員研修会（欠席）			
	新カリキュラム対応 介護実習指導研修	介護職	2	1
	令和元年度 医療的知識連続講座 身体に関する基礎知識を学ぶ研修	介護職	1	1
第1回滋賀県災害派遣福祉チーム（DWA T）養成研修（延期）				
3月	実務研修会（中止）			
	介護サービス事業所・施設管理者等研修（中止）			
	介護サービス事業所に対する集団指導（中止）			
	令和元年度 医療的知識連続講座 身体に関する基礎知識を学ぶ研修	介護職	1	1
	実習指導者研修会（中止）			
	滋老協 人権研修（中止）			
	介護サービス事業所利用に対する集団指導（中止）			
キャリアアップ事業企画評価委員会訪問看護初任期研修	看護師	1	1	

令和1年度 内部研修実績

・人権研修（福祉施設における人権研修～リスクマネジメントの視点から～）

実施日	講師	対象者	参加者数
10月22日	原、川橋	全職員	64名
10月23日	原、川橋	全職員	46名

合計 110名

・AED、酸素自動蘇生機（118）研修 ※救急救命講習

実施日	講師	対象者	参加者数
11月15日	西田	全職員	4名
11月16日	西田		10名
11月17日	西田		2名
11月19日	今江、田中		17名
11月20日	原、中山		22名
11月21日	岸本、上野		15名
11月22日	原、雲島		29名
11月23日	夏原		3名
11月24日	斉藤		14名
11月25日	斉藤		2名
11月27日	マシユウ		6名

合計 124名

・感染予防研修

実施日	講師	対象者	参加者数
9月10日	宮本・岸本・原・川橋	全職員	23名
9月11日	西田		12名
9月12日	西田		3名
9月13日	高橋		12名
9月16日	西田		4名
9月18日	小松・雲島		10名
9月19日	鶴飼・宮本		11名
9月20日	上野・川村		16名
9月21日	川橋		19名
9月25日	マシユウ・新・久保		28名
9月26日	原		12名

合計 150名

・園内研究発表会

実施日	発表部署	対象者	参加者数
10月22日	A班、調理、居宅	全職員	64名
10月23日	C班、総務、デイ		46名

※ 研究発表後に人権研修を実施

合計 110名

令和1年度 特別養護老人ホーム事業報告

1. 利用者の状況

(特養) 115名

◇利用及び入退所の状況 (年間入所者数: 25名。退所者数: 23名)

月 区分	H31	R1									R2		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
在籍者数	109名	112名	112名	112名	114名	115名	114名	110名	110名	107名	109名	110名	
入所者数	1名	5名	2名	2名	1名	2名	1名	1名	2名	2名	4名	2名	
退所者数	3名	1名	2名	0名	0名	2名	4名	2名	3名	3名	2名	1名	

◇要介護度 (R1.3.31)

	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計	要介護 平均
男	0名	0名	12名	4名	1名	17名	3.35
女	1名	8名	24名	24名	37名	94名	3.93
計	1名	8名	36名	28名	38名	111名	3.84

◆平均年齢 (R1.3.31)

	最高年齢	最低年齢	平均年齢
男	95歳	68歳	85.2歳
女	101歳	71歳	88.6歳
			88.1歳

◇ADL別利用状況 (R1.3.31)

歩 行			排 泄			入 浴		食 事	
自立	歩行器 杖歩行	車椅子	自立	誘導 見守り	おむつ パット	一般浴	特殊浴	自立	介助
15名	16名	80名	11名	9名	91名	86名	25名	69名	42名

(ショート) 10名

◇年間利用者数 (延べ人数)

月 区分	H31	R1									R2			合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
延べ利用人数	209人	228人	182人	168人	169人	188人	205人	208人	178人	137人	165人	218人	2,255人	

◇要介護度 (実人数) (R1.3月実績)

	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計	要介護 平均
男	0名	0名	1名	3名	1名	2名	0名	7名	2.57
女	0名	0名	2名	6名	5名	2名	3名	18名	2.88
計	0名	0名	3名	9名	6名	4名	3名	25名	2.80

◇ADL別利用状況 (実人数) (R1.3月実績)

歩 行			排 泄			入 浴		食 事	
自立	歩行器 杖歩行	車椅子	自立	誘導 見守り	おむつ	一般浴	特殊浴	自立	見守り 介助
12名	6名	7名	6名	10名	9名	20名	5名	11名	14名

2. 行事及び活動実績

月	行 事	内 容
5.6	遠足	5月29日、6月5日に特養・養護の合同で京都の太秦映画村に遠足に行きました。
6	運動会	6月15日に特養、養護、デイ、良の家の合同で運動会を実施しました。昼食は屋外でカレーライスを食べました。
7	七夕 そうめん流し	7月7日に恒例のそうめん流しを七夕のお祝いと一緒に開催。竹を切りだし流れるそうめんを利用者皆さんがおいしそうに食されました。
8	納涼祭	8月9日開催。屋台に江州音頭、打ち上げ花火と利用者、家族、地域住民と一緒に楽しみました。
9	敬老祝賀会	9月19日食堂にて実施。米寿6名、百歳5名の利用者にお祝い、記念品を贈呈しました。 職員によるパフォーマンスもあり大いに盛り上がりました。
10	秋まつり そば訪問	10月30日、昼食は山本そば粉さんによるボランティアで利用者や職員にも温かいおそばが振る舞われました。 午後からは、利用者と職員の出し物があり、参加した利用者は焼き芋や和菓子を食べながら、紅葉季節を楽しみました。
12	餅つき	12月27日各部署へおもむき、お餅つきを楽しみました。 餅つきを利用者は目の前で見ることができ、皆さんの「ヨイショ」のかけ声で柔らかいお餅ができあがりました。
2	節分(豆まき)	2月3日に実施。園長が節分会の後、鬼役の職員と共に各部署をまわりました。

3. 給食計画実績報告

(年間行事)

4月 花祭り 山王祭(鯖寿司) 誕生会 喫茶	10月 誕生会 喫茶 秋祭り(山本そば様来園)
5月 5日(柏餅) 誕生会 喫茶	11月 デモンストレーション(握り寿司) 喫茶
6月 誕生会 喫茶	12月 冬至(南瓜料理) もちつき 各班お楽しみ会(鍋) 誕生会 喫茶
7月 七夕 そうめん流し 祇園祭(鱧おとし) 土用の丑(鰻・土用餅) 誕生会 喫茶	1月 1日(お節) 2日(祝膳) 7日(七草粥) 11日(小豆粥) 養護新年会 誕生会
8月 施餓鬼 納涼祭 誕生会	

9月 敬老祝賀会
喫茶

2月 節分
誕生会

3月 雛御膳

(事業内容)

荷重平均表作成	栄養指導
食糧構成見直し	調理指導
献立作成 (常食・療養食)	嗜好調査
献立会議	衛生管理
発注	デモンストレーション
在庫管理	ソフト食の研究・提供
栄養ケアマネジメント	個人対応の食事
特養 115 名カンファレンス	保健所研修
新入所、退院時カンファレンス	養護ケアプラン会議

- ・利用者は各季節の献立、流しソーメン、秋祭り等の行事食を大変楽しみにしておられます。

握り寿司のデモンストレーションではマグロの解体ショーも行い大変好評でした。

寿司のおかわりをたくさんされ、とても喜んでおられました。

調理では、利用者のアレルギーや嫌いな食べ物に対する代替品はもちろん、様々な個人対応にも力を入れており、特に食事量が減少した方に少しでも食べていただけるよう、すぐに対応しています。

また、直営ならでの生野菜等の新鮮な食材を使い、利用者に安全で美味しい食事を提供出来るよう日々工夫しました。

4. 総括

- ・人材育成において、プリセプター制度の見直しをリーダー会議で行い、「いつもここから」（真盛園の介護技術マニュアル）を活用した新人教育と中堅職員のグループワークの実施、管理職の研修の実施により各階層の職員に対して取り組むことができた。
- ・リスクマネジメントや感染症研修、新型コロナウイルス対策の徹底により、人員不足の中で各部署の職員が連携し、外部との接触を最小限に抑えたことで感染症の発生を防ぐことができた。
- ・各部署で利用者に応じた、レクリエーションや外出等の余暇活動がより充実し、質の高いケア・暮らしを提供できた。
- ・電子記録への移行に対して、電子記録チーム会議での積極的な取り組みにより、電子記録が定着した。

令和1年度 養護老人ホーム・特定施設入居者生活介護事業所事業報告

1. 利用者の状況

(養護) 60名

◇利用及び入退所の状況 (年間入所者数：11名。退所者数：0名)

月 区分	H31	R1								R2		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
在籍者数	29	29	29	29	29	29	31	34	36	39	39	39
入所者数	0	0	0	0	0	0	3	3	2	3	0	0
退所者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

*退所理由の内訳

介護度の重度化に伴い、特養入所 0名

他の養護老人ホームへ措置替え 0名

施設内での看取りにより死亡 0名

病院での死亡 0名

医療の必要性が高く、療養型病院へ入院 0名

(特定施設)

◇要介護度別利用者数

	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
	特定数	要介護1	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
要介護2		4	5	5	5	5	6	6	6	6	6	6	6
要介護3		10	9	9	9	9	6	6	6	6	8	8	8
要介護4		3	3	3	3	3	5	4	4	4	4	4	4
要介護5		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		20	20	20	20	20	20	19	19	19	19	21	21

◇ADL別利用状況 (令和2年3月31日時点)

歩 行			排 泄			入 浴		食 事	
自立	歩行器 杖歩行	車椅子	自立	誘導 見守り	尿パッド 使用者	一般浴	介助浴	自立	見守り 介助
14名	9名	16名	21名	18名	22名	9名	30名	13名	26名

2. 行事及び活動実績

月	行 事	内 容
4	お花見・花祭り・茶処	屋外で体を動かし、季節を楽しむ。
5	音楽会・音楽レクリエーション・春の園外活動	水生植物園へ園外活動
6	音楽レクリエーション・スポーツレクリエーション・大運動会・春の園外活動	毎月の音楽会で、利用者間の関係作り 利用者と体を動かし健康づくり 真盛園全体での運動会を行う。
7	流しそうめん・音楽レクリエーション	季節感を味わいながら、真盛園の皆さんと一緒に外での食事を楽しむ
8	納涼祭（8／9）・雄琴花火大会ツアー・盆供養・お磨き・音楽レクリエーション・ビアガーデン	地域の方と交流すると共に、活動に参加する。 利用者の希望によりビアガーデンを実施。
9	敬老祝賀会・輪音の会・音楽レクリエーション・箕面大江戸温泉村一泊旅行	元気であることに感謝し、みんなで祝う。 利用者の希望に応じて、箕面大江戸温泉村への一泊旅行を実施する。
10	運動会・地域交流（文化祭「日吉台」・「坂本」・「老いも若きも」） 音楽会・音楽レクリエーション・スポーツ大会・バラ園（苗鹿）・近江八幡一泊旅行	社会参加すると共に、運動をどうして体作り。 作品作りを通して親睦を深め、生きがいを見つける。 大津市のグランドゴルフ大会へ参加・利用者の希望に応じて、近江八幡国民宿舎への一泊旅行を実施する。

1 1	秋祭り・音楽レクリエーション・音楽会・歌声喫茶・宝珠寮完成パーティー	秋祭りで太鼓の発表を行う 音楽会に向けて日々練習を行い、発表の場を提供する。
1 2	年忘れ会・餅つき・お磨き・食事会・音楽レクリエーション・お楽しみ会・	お楽しみ会を実施する。
1	新年会（すき焼き）	新年会を実施。
2	節分会	
3	ひな祭り・食事会・川柳大会	季節感を感じる。

- ※ 「音楽レクリエーション」・毎月、講師の指導を受けて音楽を楽しみながら体や頭を刺激する取り組みを行っている。
- ※ 「勤行」・毎朝、前阪園長により本堂にて勤行を行っていただく。また、勤行後に体操を行い介護予防に繋げている
- ※ 「茶処」・西教寺の門前をお借りして、春・秋に茶処を地域交流と生きがい作りのために、利用者さんと一緒に営業している。
- ※ 「自治会」・自治会にて生活の中で困った事や改善したい事を利用者さん同士で話し合い、解決している。
- ※ 「クラブ活動」・太鼓・園芸・手芸・料理・ハンドベルを行い、生きがい作りを行う。

3. 総括

○宝珠寮リホームが完成し、利用者定員は 60 名になっている。新規の入居者は市町村に広く声をかけているが少なく、養護老人ホームでは対応が困難で要介護が高く、医療ニーズの高い入居者も受け入れて満床を確保している。また、介護度が低い方も借金問題や虐待問題を抱えており、対応に追われている。

○要介護者は 21 名となっており（平均要介護度 2.6）、利用者 39 名の 2/3 以上は介護が必要な利用者となっている。収入を上げるために要介護度 1・2 の利用者と特定契約を結び介護サービスを提供して収益を上げている。

○介護を必要としない利用者も精神疾患(躁鬱病・統合失調症・アルコール依存症)の為に、季節の変わり目には精神的に不安定となり、不穏状態が見られ入院が増える傾向が続き中でも、半年は病院で過ごす利用者が 1 名おられる。

○精神疾患・虐待の緊急保護などの社会問題を抱えており、新入居された利用者のほとんどが支援や介護が必要となっている。

○養護老人ホームでの介護予防の必要性は高く、年間を通して楽しみながら体を動かす機会を多く提供し、利用者間の人間関係の広がり・生甲斐作り・健康増進のために、様々な行事・クラブ活動に取り組んでいる。

令和元年度も医務室の協力と滋賀県介護老人保健施設協会の出張講座を活用し、理学療法士の指導を受けながら介護予防の改善に効果をあげている。また、地域交流を進めるために、「指定障害者生活介護事業所 デイセンターすみれ」や「専称寺保育園」との交流を続けている。

令和1年度 訪問介護事業所事業報告

1. 利用者の状況

訪問介護

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
特定数												
要介護 1	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
要介護 2	4	5	5	5	5	6	6	6	6	6	6	6
要介護 3	10	9	9	9	9	6	6	6	6	8	8	8
要介護 4	3	3	3	3	3	5	4	4	4	4	4	4
要介護 5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	20	20	20	20	20	20	19	19	19	21	21	21
外部数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

2. 総括

- ・養護老人ホーム真盛園の建て替えに伴い、利用者の数が減少したため、要介護1・2の利用者を中心に新規に契約を結んでおります。
- ・ケアプランに沿って訪問計画を作成し、実施状況に応じて計画内容を検討、ケアマネと連携を密にしたサービス提供を行う事が出来た。
- ・事業所内カンファレンス（個人）を行い、訪問時に介助方法等で分からない事、危険のない様に訪問介護員で良い方法を検討、実技を行なったりして全員が周知出来るように行った。
- ・サービス提供責任者は常にサービス内容の確認を行い、利用者、御家族と訪問介護員のパイプ役としてサービス提供がスムーズに行う事が出来ました。
- ・外部サービス型特定施設入居者生活介護事業所から一般型特定施設入居者生活介護事業所への変更の為、令和2年3月31日に訪問介護事業所を廃止しております。

令和1年度 デイサービスセンター事業報告

1. 利用者の状況

(通所介護、介護予防通所介護相当サービス) 定員 25 名

◇要介護度 (R2.3.31)

	事業 対象者	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計	要介護 平均
男	0名	1名	0名	3名	5名	3名	1名	0名	13名	2.6
女	0名	0名	3名	12名	15名	9名	4名	4名	47名	2.4
計	0名	1名	3名	15名	20名	12名	5名	4名	60名	2.5

◇ADL別利用状況 (R2.3.31)

歩 行			排 泄			入 浴		食 事	
自立	歩行器 杖歩行	車椅子	自立	誘導 見守り	おむつ	一般浴	機械浴	自立	見守り 介助
26名	21名	13名	44名	14名	2名	50名	8名	51名	9名

2. 利用者月別利用者数 (R2.3.31)

	事業	支援1	支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計
4月	0名	0名	14名	90名	195名	86名	52名	14名	451名
5月	0名	0名	19名	124名	210名	102名	51名	12名	518名
6月	0名	0名	19名	128名	203名	100名	59名	10名	519名
7月	0名	5名	21名	127名	221名	123名	57名	12名	566名
8月	0名	4名	14名	132名	235名	129名	45名	35名	594名
9月	0名	3名	18名	137名	225名	86名	37名	27名	533名
10月	0名	5名	21名	125名	232名	89名	46名	37名	555名
11月	0名	4名	13名	139名	226名	81名	56名	28名	547名
12月	0名	4名	16名	120名	180名	88名	41名	30名	479名
1月	0名	3名	10名	130名	181名	95名	40名	18名	477名
2月	0名	3名	5名	138名	204名	99名	36名	11名	496名
3月	0名	4名	8名	154名	206名	120名	46名	7名	545名
合計	0名	35名	178名	1,544名	2,518名	1,198名	566名	241名	6,280名

平成30年度

計	99名	0名	113名	1,276名	2,760名	750名	338名	114名	5,480名
---	-----	----	------	--------	--------	------	------	------	--------

3. 行事及び活動実績

月	行 事	内 容
4	お花見（さくら） 山王祭見物	園庭にて桜の花見
5	お花見（つつじ） バラ園散策	園庭にてつつじの花見 湖西浄化センターに外出、散策
6	避難訓練 運動会 法話	法人の訓練に参加 法人の運動会に参加
7	外食ツアー	回転寿司、鮎屋の里などに外食
8	おやつ作り 納涼祭 法話	2週間に渡りおやつを作る 法人全体の夏祭り
9	敬老祝賀会	法人の祝賀会に参加
10	運動会 そばの訪問（秋祭り） 法話	1週間に渡り運動会を開催 そばの訪問（昼食時に提供）・和菓子等提供
11	避難訓練 紅葉狩り・ドライブ	法人の訓練に参加 紅葉観賞のドライブに行く
12	年忘れビンゴ大会 おもちつき 法話	年末の1週間ビンゴゲームで景品プレゼント 法人の餅つきに参加
1	新年祝賀会	新年のゲームを開催
2	節分	法人の豆まきに参加 西教寺ひな人形展見学は感染症予防のため中止。
3	お彼岸和菓子作り	1週間に渡り和菓子を作る
毎月 随時	誕生会 作品作り ドライブ 散歩	曜日を定めて1回。お祝い膳の提供。職員からの誕生日プレゼント 季節感を感じられる作品作り

4. 総 括

今年度も前年度と同様に「地域でその人らしく暮らすを支援する」を方針とし、利用者の生活機能の維持向上を目指したサービスに努めました。利用者が自分らしさを発揮できる環境が整ったことで、自発的な行動を目にすることが多くなりました。又、運動器具の設置は身体機能の維持にも繋がっているようで、積極的に取り組まれている姿があります。

前年度との比較としまして、新規利用者25名、登録解除利用者15名（うち養護利用者6名）と利用者増となりました。収入としては約900万の増となりました。これは新規利用者が増えたことや既存利用者の複数回利用が増えたこと、台風やインフルエンザによる休館がなかったことが考えられます。又、各居宅や家族との連携を大切にしてきたことが、徐々に評価を得て利用者増に繋がったものだと考えています。

「フリースペースしんせい」は5月頃より1世帯2名の子どもが参加しています。子どもが安心できる居場所になるように、保護者の孤立を防ぎ、しんどさを解消できるように市社協や学校、ボランティアと連携をとりながら取り組んでいます。2月頃より感染症予防のため休止していますが、落ち着いたら再開を予定しています。

令和1年度 居宅介護支援事業所事業報告

1. 利用者の状況

◇月別計画人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
30年度	73	72	71	72	76	73	77	72	74	74	76	78	887名
元年度	75	79	84	89	84	90	83	81	86	85	77	81	989名

◇要介護度別延べ人数 (年)

総合事業	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
36名	19名	147名	246名	228名	202名	40名	71名	989名

◇利用実績【過去4年間との比較】

年度	月平均件数	請求額
平成27年度	97.5件	14,239,175円
平成28年度	101.5件	15,209,728円
平成29年度	75.7件	10,948,487円
平成30年度	74件	10,105,292円
令和元年度	82.4件	11,257,026円

◇各月の新規ケース数 (介護、予防 初回加算)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2	5	2	7	2	1	0	0	4	2	2	3	30

2. 総括

- ・R元年度は新規の方の受け入れを積極的に行い、結果年間で30名の方の担当をさせていただきました。居宅介護支援費は担当をしてもその方のサービス利用がないと収入が得られない仕組みになっています。利用開始が難しく、数か月保留のまま相談支援に至るケースもありますが丁寧に対応するように心がけてきました。

介護支援専門員は、担当件数の上限が決められており、超えて引き受ける事により減算、経営状態の悪化を招く事となる為に、お断りすることがありました。担当利用者の心身状況や環境により様々な要望がある中で、介護支援専門員も無理のない支援が出来る様に考慮していきます。

- ・R元年から3年にかけて、事業所の介護支援専門員の法定研修が続きます。研修時間や課題も多く、2名の職員のため、こまめな情報交換を密に行い対応してきました。今後も健康管理に

留意していきます。

- ・ 大津市や各包括地域、障害福祉の職員の方と情報交換や連携を図りながら、カンファレンスや勉強会への参加を行ってきました。最近では多問題家族（一つの家族内において複数の問題を抱え、依存している状態）のケースもあり制度を超えて、各関係機関との協力が欠かせません。
- ・ 就労中の介護家族の方が増えてきています。夜間や休日に連絡調整する事も増加傾向にありますので、今後も経営と職員負担を考慮しながら柔軟に対応していきたいです。

<R 元年度 担当利用者が利用した法人内サービスの延べ人数と述べ日数>

真盛園デイサービス	222名	2176日
真盛園ショートステイ	92名	904日
訪問看護 和顔	109名	895日
特別養護老人ホーム 入所	1名	

令和1年度 訪問看護ステーション「和顔」事業報告

1. 利用者の状況

	H31年 4月	R1年 5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R2年 1月	2月	3月	延べ
介護 保険 (人)	26	26	27	26	24	26	26	25	26	24	22	21	299
医療 保険 (人)	12	11	12	13	13	12	12	13	12	12	12	12	146
保険外(人)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
延べ訪問件 数(件)	354	358	335	309	335	329	346	311	282	232	229	294	3714

2. 連携状況

- ・指示書発行機関（病院・医院）： 27 機関
- ・居宅介護支援事業所： 22 機関
- ・精神科訪問看護基本療養費算定要件研修会へ出席
- ・大津市在宅療養連携会議、サービス担当者会議、退院時カンファレンス、大津市訪問看護ステーション連絡協議会、
- ・退院支援強化事業 訪問看護ステーション同行見学の実習受け入れ（滋賀県病院協会主催）
- ・入退院支援看護師養成研修会に伴う実習受け入れ（滋賀県看護協会主催）
- ・訪問看護初任者研修体系検討会議への出席 他

3. 研修等への参加

- ・「第5回認知症にかかる医療と介護の滋賀県大会」へ演題発表
- ・「医療機器を使用する在宅難病患者の生活上の留意点」
- ・「介護現場における法令遵守や労働管理」

他 法人内外研修へ参加

4. 事業所内会議（ケースカンファレンス・ミーティング・勉強会）

- ・地域交流センター「老いも若きも」との地域住民向け勉強会共催：1回/年 「高血圧と減塩食」
- ・他 ケースカンファレンス・ミーティング 30例実施

5. 在宅にての看取り 6 ケース

6. 総括

- ・人工呼吸器の取り扱いなど現状に即した研修を受け、医療依存度の高い利用者の受け入れや看取りを展開できた。
- ・地域住民に向けた勉強会を開催することができ、健康維持増進について啓発活動ができた。
- ・利用者獲得に向け、精神科訪問看護算定要件を満たすための研修へ参加できた。
- ・災害対策対応を利用者や介護者・利用者個々のケアチームと必要に応じた対応協議や備えができた。
- ・訪問看護件数の維持増加を図る為に、訪問看護にかかる諸記録や他の書類整理と事務作業に必要な人員の確保が課題。

令和1年度 地域交流センター「古いも若きも」事業報告

1・活動実績

◇子ども支援

★ 「おいで屋」(学校長期休み)

- 第1回 平成31年4月3日(水) 午前10時～午後3時半まで
 内容 食事・・・ラップ寿司(チラシ寿司に具をいれて握る)おひたし、すまし汁
 おやつ・・・アイスクリーム・シリアル・クッキー
 活動・・・学習・外遊び・折り紙・トランプ・ボードゲーム等 **参加人数59名**
- 第2回 令和1年7月23日(火) 午前10時～午後3時半まで
 内容 食事・・・おにぎり(自分で具をいれて握る)、鶏肉と野菜のトマト煮、
 ジャが芋と鶏肉煮、野菜スティック
 おやつ・・・パフェを作ろう(アイスクリーム・フルーツ缶・シリアルなど)
 活動・・・学習・外遊び・折り紙・トランプ・ボードゲーム等
 「食について学ぼう」カゴメ食品様より折り紙とクイズの提供
参加人数53名
- 第3回 令和1年8月8日(木) 午前10時～午後3時半まで
 内容 食事・・・そうめん(玉子・胡瓜等)、豚肉炒め
 おやつ・・・フルーチェ、クッキー、せんべい
 活動・・・学習・工作(マグネット、ペン立て)・トランプ等 **参加人数56名**
- 第4回 令和1年8月23日(金)
 内容 食事・・・夏野菜トッピングカレー・パスタサラダ・
 おやつ・・・地蔵盆のお下がり(お菓子・ジュース)
 遊び・・・学習・新聞紙遊び・トランプ・ビーズ等
 地蔵盆のお参りとお地蔵様のお話を聞く **参加人数62名**
- 第5回 令和1年12月20日(金) 午後1時半～午後3時半まで
 内容 クリスマス会(フラダンスとウクレレ演奏・サンタさんからのプレゼント)
 おやつ・・・ケーキ・ジュース **参加人数61名**
- 第6回 令和1年12月25日(水) 午前10時～午後3時半まで
 内容 食事・・・シーチキンケチャップライス、ツリーのポテトサラダ、コーンスープ、
 蓮根と鶏のナゲット
 おやつ・・・マドレーヌにトッピング(生クリーム、フルーツ)、ジュース、駄菓子
 遊び・・・学習・工作(クリスマスの飾り)・カードゲーム・ボール遊び 等
参加人数70名
- 第7回 平成30年3月25日(水) 午前10時～午後3時半まで
 コロナウイルス感染予防の為 中止

実施日数 6日 **計** 361名(大人含む)

★放課後(平日) **実施日数** 161日 **計** 680名(子ども)

★寺子屋(学区社協と連携) **実施日数** 4日 **計** 71名(大人含む)

◇施設見学

年 月 日	見学団体名	参加人数
2019・5・29	長崎県川棚町民生児童委員	34名
10・18	大津市桜馬場自治会	13名
・24	司法修習生	8名
2020・1・16	早稲田大学 重点領域研究機構	1名

◇利用者数・ランチ数・利用日数

月	利用者数	利用者数の内訳			ランチ数		利用日数
		子供	大人	高齢者	弁当	軽食	
4	614	203	153	258	55	119	23
5	621	138	172	311	78	145	25
6	547	136	171	240	56	103	25
7	633	161	211	261	54	144	28
8	584	218	184	182	8	132	25
9	482	77	169	236	30	85	25
10	499	79	157	263	29	140	26
11	417	45	134	238	47	88	23
12	560	170	173	217	20	82	25
1	486	90	172	224	29	83	25
2	403	86	136	181	59	70	23
3	378	90	166	122	15	67	25
合計	6224	1493	1998	2733	480	1258	298

◇事業及び行事内容

年 月 日	行事および事業内容	参加人数
H31・4・2	音楽交流会 ウクレレやってみようの会	16名 5名
3	子ども食堂「おいで屋」	59名
23	法話	5名
R1・5・7	音楽交流会 ウクレレやってみようの会	13名 8名
17	法話	9名
6・4	音楽交流会 ウクレレやってみようの会	15名 7名
12	法話	10名
25	健康講座（生活習慣病）	14名
7・2	音楽交流会 ウクレレやってみようの会	18名 7名
5	健康教室「ロコモ体操」	20名
22	法話	9名
23	子ども食堂「おいで屋」	53名
8・6	音楽交流会 ウクレレやってみようの会	10名 7名
8	子ども食堂「おいで屋」	56名
23	子ども食堂「おいで屋」・地藏盆	62名
9・3	音楽交流会 ウクレレやってみようの会	7名 7名
18	法話	6名
10・1	音楽交流会 ウクレレやってみようの会	8名 6名
23	法話	12名
28	健康教室（口腔ケア体操）	16名
11・5	音楽交流会 ウクレレやってみようの会	14名 6名
11・12	法話	13名
11・14～21	作品展	56名
27	健康教室（栄養と体操）	15名
12・3	音楽交流会 ウクレレやってみようの会	8名 7名
16	法話	7名
20	クリスマス会	63名
25	こども食堂	70名
R2・1・14	音楽交流会 ウクレレやってみようの会	13名 5名
1・22	法話	13名

2・4	音楽交流会 ウクレレやってみようの会	8名 7名
1 2	健康教室（認知症と体操）	1 2名
3・3	音楽交流会 ウクレレやってみようの会	5名 6名
1 0	子ども食堂（寺子屋）	1 8名
1 3	法話	1 0名
随 時	要望に応じて 手芸・折り紙・子育て・勉強会・健康教室 その他 各サークル活動	

総 括

1・子ども支援

ご家庭の中で学校の長期休み中の行事のひとつとして「子ども食堂」が定着してきたと思われ、リピーターが多い。参加する子ども達も低学年が増え、兄弟で参加する子ども達も増えてきた。中には幼児の参加希望の声もあるが保護者同伴でお願いしている。

参加者の中には、家庭的にしんどさを抱えた子どもも参加している為、開催前の打ち合わせには、学校、子ども家庭相談室、社会福祉協議会、ふれあいセンター、若者サポートステーション、主任児童委員、保護司、ふれあい給食の方々にも参加して頂き、地域の子どもの様子について共有し、支援につなげている。

ボランティアの受け入れにも、柔軟に対応し、大学生、高校生、主婦、障がい者の方など、地域内外からも来て頂いている。

子ども食堂実施日に「おいでや通信」を作成し、子どもを通じて保護者やボランティアさんに配付し、子ども食堂の様子や子どもへの関わり、ボランティア、寄付等をお知らせし「子ども食堂」の役割の周知に努めている。

長期休み以外の平日の放課後も、しんどさを抱えた子どもやその友達も来所している。日頃の生活や勉強、友達関係等の悩みをはなしにくる。6月末までは、食事を提供していたが、経済的余裕のある、なしの把握が難しくなり、全ての子どもに対して食事の提供を中止した。それに伴い来所する子どもの数は減ったが、悩み等を持つ子どもは、継続して来所している。特に食に困っている子どもに対しては、寄付のお菓子等がある場合は提供している。

「えにし」からの助成金は終了しているが、社会福祉協議会を通じ企業や団体から、また、フードバンク、個人さまから、沢山の寄付金や商品券、食材、文具、消耗品等を頂いている。

また、今年度から、家庭的にしんどさを抱えた子ども達を対象に、学区社協主催の「寺子屋」と連携し調理実習を行っている。子どもに生活力をつける事や日頃できない体験をし、地域の大人や学校の先生と関わる場を設け、安心できる場所や大人が地域にいることを知らせてきた。

3月より新型コロナウイルス感染予防の為、全ての利用を中止したため、子ども食堂を始め子どもの受け入れも中止となり、職員の子どものみを預かることとなった。

2・利用状況

昨年同様、地域の方の憩いの場、趣味や勉強等の拠点にもなっている。

利用者数は作年度から比べると全体に減少し、昨年度の一日平均利用者数は約23人に対し、今年度は約20人となり、大人、子ども、高齢者とも減少している。3月からの新型コロナウイルス感染予防対策の影響もあるが、高齢者の施設入所や在宅サービスの利用、老人会、町内会加入者の減少、入院や死亡、子育て世帯は幼稚園や保育の無償化、預り保育の導入に伴い、若い親が仕事を始められたことも減少の理由とも思われる。

反面、近隣の高齢者の憩いの場、サークル活動の場としての利用の回数は増えている。公の貸館利用形態の変化や利用者の健康状態から遠方へ出向く事が難しくなり、近くで無償で使える場所として喜ばれている。

社会福祉協議会や、行政、病院、学校、近隣住民からの紹介で、しんどさを抱えた大人や子ども、障がい者、高齢者の方の利用もあり、個々に応じて柔軟に対応してきたが、専門的支援が必要なケースが多く、地域の居場所として

の役割と専門機関とのネットワークを活かし連携して支援につなげてきた。

全国的にも「居場所」の必要性は周知され増加している為、施設見学者は少なくなっている。
それぞれの地域にあった「居場所」が展開される中、15年目になる「老いも若きも」がどのように地域にあるべきか考えていく必要があると思われる。

3・地域に向けて

広報活動や地域の会合、研修等にも積極的に参加し、地域住民やその他の施設等へ活動の周知拡大に努め、住民どうしの関係が希薄化され、少子高齢化が進む中、地域の支え合いの重要性を発信していきたい。

災害時においても、地域住民と顔の見える関係を築いておくことで迅速に対応、連携が取れるように努めていきたい。

個々に応じたケース会議にも参加し、関係機関と連携しながら、利用者の支援に繋がるよう努めたい。